

## シニアクラブ南伊豆

○総人口	8,109人	○65歳以上人口	3,766人	○高齢化率	46.4%
○シニアクラブ会員数	625人	○シニアクラブ加入率		16.6%	

### ～シニアクラブ南伊豆～

#### 《概況》

- ・本部役員、若手委員との協議を10月15日に実施。休会地区や未設置地区の状況や今後の対策について話し合いを行った。また、広報紙の発行について取り上げる記事の内容、役割分担について協議を行った。
- 11月～2月に休会地区、未設置地区の自治会長や民生員への訪問を推進相談員、若手委員で行った。それらの地区でのクラブ再開、新設について話し合い、課題や今後の展開について協議を行った。
- 3月に広報紙「みなみろうれんだより」を全戸配布で発行。

#### 《成果》

- ・南伊豆町老人クラブ連合会では、若手委員会の活動を本部役員会や単位クラブ会長会議などの際にも報告の機会を設け、若手委員と本部役員、各単位クラブと協同で事業を実施することにより、良い情報交換の場ともなりました。単位クラブの活動や、町老連で実施している事業の課題、今後の方針についても様々な意見が寄せられ、これからの老人クラブ活動を進めていく上で良い材料になると思います。
- 町老連広報紙「みなみろうれんだより」発刊により、町民の皆様にクラブ活動を知って頂くことで、クラブ活動への興味や理解を深め、今後の会員加入促進にも繋がると考えられます。町内各世帯に全戸配布を行い、クラブ活動を知って頂く良い機会になったと思います。

#### 《今後の方針》

- ・若手委員会、活動推進相談員を中心に、令和3年度も継続して各単位クラブへの訪問活動を実施し、広報紙「みなみろうれんだより」を発行し、会員加入促進に繋がりたいと考えています。また、若い世代にも受け入れられやすい事業の創出や、活動推進相談員と連動して休会地区や未実施地区への対応を行いたいと考えています。

## 【活動の様子】

シニアクラブの活動の様子を全戸に配布することで、地域高齢者へ集える場のあることを発信

# みなみろうれんだより

## 第9号 春

### ～みなみろうれんだより 第9号 発刊にあたって～

「コロナの長いトンネル、いつ抜ける」

令和2年度は、コロナ感染拡大で、世の中に大きな影響を与えています。

このような状況の中で、町老連では、仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、長い経験の中での知識と経験を生かし、明るい長寿社会と福祉向上に努めることを目標に活動に励んでいます。

本年度予定された行事も無事終わりました。コロナ感染が収束に至っていない中でしたが、感染拡大防止に十分配慮しつつ行いました。特に本年度は、全ての活動を屋外で行い、天候にも恵まれて好評をいただきました。また、活動再開した湊老人クラブは県老連活動再開表彰を、吉祥、手石、下流、湊の各クラブは会員加入に成果を上げ、県老連会員加入促進運動表彰が授与されました。各クラブの今後の活動にさらに期待したいと思います。

毛倉野昭和の会の活動、町老連の活動についていくつか紹介致しますので、皆さまのご感想を頂ければ幸いです。

南伊豆町老人クラブ連合会 会長 鈴木 忠 蔵

### ～毛倉野昭和の会の活動紹介～

毛倉野老人会は長らく休会しておりましたが、町老連の役員さん、地域の方々から活動再開してはどうかとの話が出てきました。そこで、地区の役員さん、民生委員さんを含め、地域の方々に一生懸命話をして頂き23名の方々に入会してもらい、平成30年6月に再出発することが出来ました。役員を決め規約を作り、毛倉野老人会ではなく「毛倉野昭和の会」と呼び名を変えようということになり、毎月10日に定例会を行うことや、年2回、春と秋に遠足(バス旅行)をすることなどを決めました。平成30年には県老連活動再開表彰、令和元年には会員加入促進運動表彰を受賞しました。

昭和の会の活動として、毎年、南上小学校にしめ縄づくりの講習に行っております。今年度も12月19日に、会員の有志3名が子供たちに教えに行きました。校長先生始め、5・6年生の子供たちと父兄さんを含めて15名が参加してくれました。子供たちも一生懸命にしめ縄作りに挑戦して分からない所や難しい所を丁寧に教え、出来上がった時にはとても嬉しそうでした。



## グラウンドゴルフ大会

9月25日、青野川ふるさと公園において、第16回グラウンドゴルフ大会を開催しました。雨天順延もありましたが67名の参加者が午前午後に分かれて4ゲーム行い勝敗を競いました。

日頃の練習の成果を発揮し、ホールインワンも19名が達成し、年々スコアが高くなっています。

コースの所々に消毒を置いたり、ソーシャルディスタンスを保つよう配慮して大会を開催しました。青空の下、参加者全員いきいきと楽しくプレーできました。



## スポーツ大会

10月16日、差田グラウンドにおいて、第45回スポーツ大会を開催しました。町内各地区から18チーム、約250人が参加し熱戦を繰り広げました。

今回は新型コロナ感染拡大防止のため密になる種目は省いて、全9種目で勝敗を競い、優勝は石井、準優勝は仲木、第3位が下小野という結果となりました。

会員が集まる機会が少ない状況の中、和気あいあいと親睦の図れる大会となりました。

## 輪投げ大会

11月6日、青野川ふるさと公園において第30回輪投げ大会を開催しました。今回の大会は新型コロナ感染拡大防止のため、初めて屋外で開催しました。

風の影響を心配していましたが、晴天の下風も穏やかで、参加した24チーム、選手約140名が日頃の練習の成果を発揮しました。

Aブロックでは下流チームが連覇を達成。Bブロックは手石チームが優勝しました。



## 老人八訓

- ①くよくよするな腹立つな（悟り）
- ②常に勉強夢を持って（希望）
- ③歩け働け大気も薬（運動）
- ④好き嫌いをなく腹八分（食事）
- ⑤適度に休養無理するな（休養）
- ⑥姿も若く気も若く（心構え）
- ⑦打ち込む娯楽と趣味を持って（趣味）
- ⑧話せる老人役に立て（奉仕）

